

令和7年度補正予算

「産学連携・スキリング・
エコシステム構築事業」
補助金事業

大学リ・スキリングプログラム事例集

メニュー②「産業成長」

領域：経営人材向け



東京都市大学:建設業DX/AI変革リーダー育成プログラム

プログラム概要

① 名称

- 東京都市大学リ・スキリングプログラム「建設業DX/AI変革リーダー育成プログラム」

② 目的

- 構造転換が進む建設業において、事業承継の停滞、DX導入判断の困難さ、現場実装力不足、人材確保・定着の課題に対応するため、経営者層、技術者層、幹部/中堅社員層の三層を対象とした統合的リ・スキリング体系を構築し、企業の経営改革・現場変革・組織変革を一体的に推進できる人材の育成を目的とする。

③ 対象者層

- 建設業 経営者、技術者、幹部/中堅社員

④ 育成対象の課題・目指す姿

- 建設業では、事業承継の停滞、DX導入の遅れ、人材不足・高齢化が進行し、企業全体で変革を推進する多層的人材の欠如が課題
- 経営者層・技術者層・幹部/中堅社員層の三層が連動したリ・スキリング体系を構築
- 経営DX・現場DX・組織DXを一体で推進できる人材エコシステムの形成
- 個人のスキル向上に留まらず、企業の経営改革・生産性向上・構造転換に直結する人材育成を実現

⑤ 学修成果

- 事業承継や経営課題を構造的に捉えDX戦略として具体化する力、BIM/CIM等を活用して現場におけるデジタル技術を実装する実務力、さらに組織内でDXを推進し業務改善を展開する実行力を一体的に習得し、企業の経営判断・現場運用・組織変革を連動させながら、自社の「事業承継DXロードマップ」を策定・実践できる人材へと成長する。

カリキュラム内容

① カリキュラム特徴

- 本プログラムは、建設業における産業構造転換に対応するため、経営者層・技術者層・幹部/中堅社員層の三層を対象とした統合的リ・スキリング体系として設計されている点に特長がある。
- 経営者層向けには、事業承継・経営改革・DX戦略を扱う実践型のリカレントプログラムを提供し、技術者層にはBIM/CIMを中心とした実習重視の教育により現場DXの実装力を養成する。また、幹部/中堅社員層に対してはオンラインフォーラムを通じてDXの基礎理解と組織内展開力の底上げを図る。
- 経営者向けリカレントプログラム「建設業事業承継DX/AIコース」は講義・演習・現場視察・ケーススタディを組み合わせた実務直結型のカリキュラムとし、学修内容がそのまま企業現場に適用可能な構造としている。
- 経営者層、技術者層、幹部/中堅社員層の三層を対象にすることにより、企業の経営改革・現場改善・組織変革を一体的に推進する教育プログラムを実現している。

② アピールポイント

- 企業の経営改革・現場DX・組織変革を一体的に推進できる実践型リ・スキリングとして先進性を有する。
- クラフトバンク株式会社や一般社団法人Civilユーザ会、専門メディア等と連携した産学官言の事業実施委員会により、企業ニーズを継続的に反映するPDCA型運営を実現し、教育内容の高度化と実効性を担保する。
- 受講成果として事業承継DXロードマップを策定し、オープンバッジや修了証によってスキルを可視化することで、企業内の評価への接続を可能とする点も大きな強みである。
- 受講料収入を基盤とした自走化モデルとAlumniネットワーク（PXU会員制度）を組み合わせることで、継続的な受講者確保と学びの循環を生み出し、企業成長に直結する持続的リ・スキリング・エコシステムの確立を実現する。



東京都市大学:建設業DX/AI変革リーダー育成プログラム

プログラム詳細

⑥ 受講料（今後更新予定）

- ・ 経営者向けリカレントプログラム「建設業事業承継DX/AIコース」 …… 60～80万円
- ・ 技術者向けリカレントプログラム「BIM/CIM塾（基礎編/中級編/管理者編）」 …… 各コース18万円
- ・ 幹部・中堅社員向けセミナー「建設DX/AIフォーラム」 …… 無料

⑦ 受講人数

- ・ 経営者向けリカレントプログラム「建設業事業承継DX/AIコース」 …… 10～15人
- ・ 技術者向けリカレントプログラム「BIM/CIM塾（基礎編/中級編/管理者編）」 …… 各コース15人
- ・ 幹部・中堅社員向けセミナー「建設DX/AIフォーラム（オンライン）」 …… 100人

⑧ 受講時間数（予定）

- ・ 経営者向けリカレントプログラム「建設業事業承継DX/AIコース」 …… 40.0時間
- ・ 技術者向けリカレントプログラム「BIM/CIM塾（基礎編）」 …… 19.5時間
- ・ 技術者向けリカレントプログラム「BIM/CIM塾（中級編）」 …… 13.0時間
- ・ 技術者向けリカレントプログラム「BIM/CIM塾（管理者編）」 …… 6.5時間
- ・ 幹部・中堅社員向けセミナー「建設DX/AIフォーラム」 …… 2.0時間

⑨ 開講時期・所要期間（予定）

- ・ 経営者向けリカレントプログラム「建設業事業承継DX/AIコース」 …… 9～2月の7日間
- ・ 技術者向けリカレントプログラム「BIM/CIM塾（基礎編）」 …… 11月の3日間
- ・ 技術者向けリカレントプログラム「BIM/CIM塾（中級編）」 …… 11月の2日間
- ・ 技術者向けリカレントプログラム「BIM/CIM塾（管理者編）」 …… 11月の1日間
- ・ 幹部・中堅社員向けセミナー「建設DX/AIフォーラム」 …… 10月の1日間

⑩ 社会人の学びやすさへの配慮

- ・ リカレントプログラムは受講者間の交流促進をふまえ、対面による講義を重視しつつ、社会人が無理なく受講できるように、集中講義による学びやすさに配慮した設計としている（経営者層向けリカレントプログラムは一部座学をオンラインで実施）。
- ・ 講義・演習を組み合わせることで学習内容を即実務に活用できる構造とし、多忙な社会人でも効率的に成果を得られるよう工夫している。
- ・ 幹部/中堅社員向けセミナーはオンラインを活用し、場所や時間の制約を受けにくい受講機会を提供する。

⑪ 実施形式

- ・ 経営者向けリカレントプログラム「建設業事業承継DX/AIコース」…… 対面（一部オンライン）
- ・ 技術者向けリカレントプログラム「BIM/CIM塾（基礎編/中級編/管理者編）」…… 対面
- ・ 幹部/中堅社員向けセミナー「建設DX/AIフォーラム」 …… オンライン

⑫ シラバス

- ・ シラバス（各回の概要）は4～5ページプログラム詳細を参照。

申込方法・サイトURL

- ・ プログラムサイトより申込 <https://shibuya-pxu.tcu.ac.jp/>

担当連絡先

- ・ 総合企画部 研究・社会連携推進部 PXU推進課
shibuya-pxu@tcu.ac.jp・03-5707-0104（代表）





東京都市大学:建設業DX/AI変革リーダー育成プログラム

昨年度プログラム内容

プログラム写真

- リカレントプログラム
「建設業事業承継DXコース」の様子

受講者数

- 9名

実際のプログラム実施内容



第1回 | 事業承継のリアルと向き合う 日時：2025年10月3日(金)

- プログラム開講／東京都市大学学長メッセージ
- 建設業におけるDXの目的、事業承継に際してのDXの重要性
- 承継経験のある経営者（塩谷建設・江口組・新庄砕石）による事例共有
- グループワークで自社の承継課題を言語化・共有

第2回 | 建設DXの理論と実践 日時：2025年10月24日(金)

- BIM/CIM、ICT施工、3Dプリンティング、バックオフィスDXなどの理論と事例紹介
- 建設スタートアップによる取組のプレゼンテーション
- グループディスカッション

第3回 | 地域の先進企業に学ぶ（現地視察） 日時：2025年11月14日(金)～15日(土)

- 場所：山形県・新庄砕石工場
- 現地の建設会社での視察
- 事業承継のプロセス、SNSを活用した採用や若手育成の工夫などを学ぶ
- グループワークにて自社に取り込める点を言語化・共有

第4回 | 人材戦略とDXで組織を変える 日時：2025年12月4日(木)

- 大手ゼネコンの無人化施工の取組やICT施工の具体事例を紹介
- 地域建設業の人材採用・育成の実例を学ぶ
- グループワークで自社の人材戦略を再検討

第5回 | 現場DXの実装に学ぶ（現地視察） 日時：2026年1月23日(金)

場所：渋谷再開発現場

- 東急建設の現場におけるDX活用の実践例を学ぶ

第6回 | 最終発表会～自社のDX推進計画～ 日時：2026年2月13日(金)

- 自社の「DX推進計画」のプレゼンテーション
- プログラム修了式／ネットワーク継続のための案内
- 発表会には国交省やマスコミ等の関係者も参加する予定です

昨年度成果サマリー

受講生の声

- 受講前は事業承継やDXを個別の課題として捉えていたが、受講後はそれらを統合した経営改革の課題として認識直し、個人依存から組織で成果を出す発想へと転換した。
- 本プログラムを通じて、自社課題の構造化と戦略立案力を高めるとともに、ノウハウを可視化・標準化するDXの本質や、実務に活かせる多角的な視点を習得した。
- 学修成果を基に、事業承継とDXを一体で推進しながら経営改革を進め、組織の生産性向上や人材育成に展開するとともに、受講者ネットワークを活用した継続的な改善に活かしていくことが期待されている。

昨年度の実施を踏まえた発展ポイント

- プログラムの対象者を経営者層中心から三層型プログラムへ拡張し、経営者・技術者・幹部/中堅社員を対象とする体系的リ・スキリングプログラムとし、企業変革を支える“全社的支援”へ進化させることで、経営改革・現場改善・組織浸透を一体で支援する設計とする。
- 新規プログラムの追加
「BIM/CIM塾」「建設DX/AIフォーラム」を新設し、実装力と裾野拡大を強化する。



東京都市大学:建設業DX/AI変革リーダー育成プログラム

プログラム詳細

事業概要

国土交通省が推進するi-Construction2.0やBIM/CIM原則化により構造転換が加速する建設産業では、事業承継の停滞、DX導入判断の難しさ、現場のデジタル実装力不足、人材確保・定着の困難など、多層的な課題が顕在化している。

本学はこれらに対応するため、経営者層・技術者層・幹部/中堅社員層を対象とした「建設業DX/AI変革リーダー育成プログラム」を構築する。

令和7年度の受講者ニーズ（承継過程の不透明性、DX投資判断、人材戦略の不足等）を踏まえ、令和8年度は①事業承継DX、②BIM/CIMを中心とした現場DX、③組織DX/AI基礎の三層を統合した体系へ発展させる。さらに、クラフトバンク株式会社、一般社団法人Civilユーザ会、専門メディア各社と連携し、実務知見の反映、PR・企業募集の強化、地域企業との共創基盤を拡充することで、産業構造転換を支える実践的リ・スキリングエコシステムを形成し、建設業の成長と労働移動の円滑化に寄与する。



経営者層

意思決定・戦略策定

リカレントプログラム 「建設業事業承継DX/AIコース」

経営者・後継者

経営戦略×DX/AIの統合計画策定
自社「事業承継DXロードマップ」作成
先進事例視察と伴走型メンタリング

定員（年間）

10～15名



技術者層

現場実装・運用

リカレントプログラム 「BIM/CIM塾」

現場技術者・設計者

点群処理・3D/4Dモデル作成実習
国交省基準対応の実務スキル習得
CPD認定プログラム

定員（年間/全コース合計）

75名



幹部/中堅社員層

組織浸透・推進

「建設DX/AIフォーラム」

管理職・中堅社員

DX/AIリテラシーの底上げ
企業横断的な課題共有ネットワーク
オンライン中心の柔軟な受講形態

定員（予定）

100名超

経営者向けリカレントプログラム「建設業事業承継DX/AIコース」

地域建設業を支える次世代経営人材の育成を目的とし、地域建設業の2代目・3代目経営者層を対象に、事業承継・DX/AIを活用した経営変革について体系的に学ぶ。講義（インプット）と対面ディスカッション・視察・発表を組み合わせた実践型設計で、受講生が各回自社の現状と方向感を発表・議論することを特徴とするプログラムである。

回・日付（開講方式）	テーマ	内容
第1回（対面） 2026年9月18日（金）	キックオフ「継ぐ」から「変える」へ	▶ 学長挨拶・建設DXの目的と課題 ▶ AIの時流と経営変革、AI活用の実例 ▶ 受講生自己紹介・自社課題の棚卸し
第2回（オンライン） 2026年10月9日（金）	建設DX・経営変革の実践事例	▶ BIM/CIM・建設DXの動向 ▶ 事業承継における、経営変革、10年プランの実例 ▶ 3Dプリンティング、無人化施工・ICT施工の最新動向 ▶ データで見る地域建設業の動向
第3回（対面） 2026年10月16日（金）	第2回講師によるパネルディスカッション、現状分析・課題の整理	▶ 第2回講義を踏まえたパネルディスカッション ▶ 受講生による自社の現状分析・課題の整理・発表 ● 受講生間のディスカッション、講師陣からのフィードバック
第4回（対面/現地視察） 2026年11月6日（金） ～7日（土）	現地視察＋中間発表	▶ 塩谷建設の施設・事務所視察 ▶ 経営変革・採用変革の実例（塩谷社長） ▶ 【中間発表】自社変革計画の骨子発表 ▶ 矢吹教授・塩谷社長による講評
第5回（オンライン） 2026年11月25日（水）	採用・広報・マーケティング＋スタートアップとの共創	▶ 地域建設業における採用・広報・マーケティングの実践 ▶ メディア戦略 ▶ スタートアップ事業紹介ピッチ（4社を予定） ▶ 第一期修了生による発表
第6回（対面/現地視察） 2026年12月4日（金）	第5回講師によるパネルディスカッション、BIM/CIM実例	▶ 第2回講義を踏まえたパネルディスカッション ▶ 東急建設 ● BIM/CIM活用事例 ● 渋谷現場視察
第7回（対面） 2027年2月5日（金）	最終発表会	▶ 受講生による「自社経営変革計画」最終発表 ▶ 野城学長・矢吹特任教授による総評・講評 ▶ 第1期修了生のアルumnの事業進捗の共有



東京都市大学:建設業DX/AI変革リーダー育成プログラム

プログラム詳細

技術者向けリカレントプログラム「BIM/CIM塾」

国土交通省では、i-Construction施策推進に向け、BIM/CIM活用による建設生産性を2割向上させることを目標にしている。
東京都市大学では、「BIM/CIM塾（基礎編/中級編/管理者編）」として、短期集中、少人数制プログラムを開講し、実習重視の教育による現場DXの実装力を養う。

▼基礎編

Autodesk社製品を利用して、BIM/CIMモデル作成の基礎を学ぶ		
1日目 2026年11月上旬	道路・河川分野	地形モデルの作成、道路モデル作成、造成モデル作成
2日目 2026年11月上旬	構造物編	構造物作成基礎、Family(部品)作成・属性付与、配筋、位置情報の付与
3日目 2026年11月上旬	統合モデル作成編	統合モデル作成(Navisworks, Infraworks)、4Dモデル作成、動画作成

▼中級編

BIM/CIMの考え方とBIM/CIMを用いた計画手法の基礎を学ぶ	
1日目 2026年11月中下旬	BIM/CIM概要を学び、Infraworksの利用方法、プレゼンテーション手法を学び、計画案を作成する。作成したモデルの説明資料を作成し発表する。
2日目 2026年11月中下旬	

▼管理者編

発注者（役所、JR、NEXCOなど）、設計者（建設コンサルタント会社）、施工者（ゼネコン）の上級管理職（部長クラス、次長クラス）を対象に、実際の現場での使い方の成功事例などを学ぶ	
2026年11月下旬	BIM/CIM技術を発注者、設計者、施工者が本来どう使うべきなのか、どう使えばBIM/CIMが本来持っている力を発揮されるのか、管理者は何をなすべきなのか、マネジメントに関する事柄を中心に、実践を交えた座学（講義、演習、ディスカッション）で学ぶ

渋谷PXU 特別セミナー「建設業界のDX推進とロボット技術活用」

建設業界の経営者層・DX推進担当者層を対象とし、リカレントプログラムの事前説明会を兼ねた特別セミナーとして開催する。

日時	2026年7月22日（水） 18:00 ～ 21:00
会場	東京都市大学 渋谷PXU
定員	60名程度
参加費	無料

幹部/中堅社員向けセミナー「建設DX/AIフォーラム」

東京都市大学と専門新聞社共催による幹部/中堅社員層向け「建設DX/AIフォーラム」を開催する。
建設業におけるDX推進や組織変革は、経営層による意思決定や技術者による現場実装だけでは十分に機能せず、日常業務を担い部門間をつなぐ幹部/中堅社員層が理解と実行力を備えることが不可欠である。しかし、これまで当該層に対する体系的なDX教育機会は限られており、組織内での浸透や横断的な改善が進みにくいという課題がある。

本プログラムではオンライン形式の建設DX/AIフォーラムを通じて、DXに関する基礎理解の底上げと他社事例の共有、企業横断的なネットワーク形成を促し、組織全体としてDXを推進できる基盤を構築する。

日時	2026年10月上旬
会場	オンラインによる実施
定員	200名程度
参加費	無料

早稲田大学: The Global Leader Accelerator Programme (GLAP)

プログラム概要

① 名称

The Global Leader Accelerator Programme (GLAP)
早稲田大学ビジネススクール x オックスフォード大学サイドビジネススクール共同開発

② 目的

オックスフォード大学の世界的知見を日本企業の文脈で再構築し、企業の持続的成長を牽引する経営人材を育成することで、日本の国際競争力強化に直結させる。

③ 対象者層

日本を代表する各産業の主要企業から選抜された次世代リーダー候補

④ 育成対象の課題・目指す姿

課題：

急速な人口減少に伴う市場縮小が深刻化する一方、サステナビリティやデジタル変革、地政学リスク（サプライチェーンの寸断、貿易摩擦など）といった新たなトレンドが企業経営の前提を大きく変えつつあり、日本企業には変化を的確に捉え課題解決に貢献する真の「経営」が求められている。その「経営」を担うために、社会・経済・産業を俯瞰し、グローバルな視点や最先端の経営知見を持って将来を構想し、舵取りができる経営人材の育成が必要とされている。

目指す姿：

予測困難な社会情勢下で日本企業が持続的成長を遂げるために不可欠な次世代リーダー

⑤ 学修成果

「グローバルな視点と将来構想力」、「変化への対応と変革推進力」、「多様な人材を率いるリーダーシップ」の3つを涵養し、グローバルマインドセットを兼ね備えた実践的経営人材としての素養を身に付ける

カリキュラム内容

① カリキュラム特徴

事前協議・課題設定・集中研修・成果共有の4ステップで構成する次世代リーダー育成プログラム

- ・ 開始前：派遣元企業と事前に、育成したいリーダー像や必要なマインドセット・スキルを協議、確認。
- ・ プレセッション：オンラインセッションで到達目標の明確化、リーダーシップアセスメントの実施、自社課題・個人課題の設定を行う。
- ・ 研修期間：5日間の宿泊型研修にて、集中的に講義と演習（アクションラーニング）を実施。経営知見を深め、課題を多様な視点から議論し、最終日に発表を行う。
- ・ 終了後：研修成果を社内で発表し、学びを共有する。

② アピールポイント

- ・ 日本企業の経営に深い知見とネットワークを持つ早稲田ビジネススクールと世界トップクラスのオックスフォード大学サイドビジネススクールのグローバルな視点を融合した国際的な次世代リーダー育成プログラムを日本に居ながらにして受講できる。
- ・ 持続的ラーニングコミュニティ基盤を構築し、プログラム修了後も相互に学びあい、成長しあえるネットワークを形成する。
- ・ 修了証としてデジタルバッジを発行。保有スキルの可視化とスキル証明ツールとしての活用が可能。



早稲田大学: The Global Leader Accelerator Programme (GLAP)

プログラム詳細

⑥ 受講料

- 42万円（予定）

⑦ 受講人数

- 30人（予定）1社より複数名派遣

⑧ 受講時間数

- 3時間（プレセッション）+ 約40時間（5日間集中セッション）

⑨ 開講時期・所要期間

- 2027年1月～2027年2月開催予定
- オンラインプレセッション+5日間の宿泊型研修

⑩ 社会人の学びやすさへの配慮

- 事前オンライン1回、対面は5日間集中の短期間で完了

⑪ 実施形式

- オンラインおよび対面

申込方法・サイトURL

- HPより申込
<https://www.waseda.jp/fcom/wbf/education/executive>（2026年度版改訂中）

担当連絡先

- 早稲田大学ビジネス・ファイナンス研究センター wibf@list.waseda.jp
- 早稲田大学アカデミックソリューション（株）社会連携企画部
エグゼクティブ研修支援チーム Mail: exe-edu@w-as.jp

⑫ シラバス・スケジュール

事前 オンライン開催

東京 対面開催 5日間

	半日（3時間）		Day 1	Day 2	Day 3	Day 4	Day 5
イントロ （1時間）	本講座の目的、内容、達成目標の説明 （OXFORD講師・早稲田講師）	イントロ	イントロダクション （OXFORD講師・早稲田講師）	前日のリフレクション （OXFORD講師・早稲田講師）	前日のリフレクション （OXFORD講師・早稲田講師）	前日のリフレクション （OXFORD講師・早稲田講師）	前日のリフレクション （OXFORD講師・早稲田講師）
リーダーシップ・アセスメント （1時間）	リーダーシップアセスメントの目的、内容、受講生の作業の説明 （早稲田講師）	午前 1	【講義】 イントロダクション：戦略的思考とグローバル・リーダーシップ （OXFORD講師）	【講義】 パーパス主導のビジネス：ステークホルダーの共感を得る企業理念の策定 （OXFORD講師）	【講義】 独自の組織能力の構築：イノベーションの選択 （OXFORD講師）	【講義】 グローバルビジネス環境における企業リーダーシップの機会と課題 （OXFORD講師）	【講義】 グローバルビジネス環境における企業リーダーシップの機会と課題 （早稲田講師）
受講生自己紹介 （1時間）	受講生各自による自己紹介	休憩					
		午前 2	【講義】 グローバルなビジネス環境の分析：変革と破壊をもたらす要因 （OXFORD講師）	【講義】 競争優位性を高めるための企業理念とビジネス戦略の整合性確保① （OXFORD講師）	【講義】 AIによるビジネスシステム・アーキテクチャの進化 （早稲田講師）	【講義】 組織開発：人材、企業文化、変革の優先事項 （OXFORD講師）	【演習】 受講生による自社の経営課題と解決策の発表準備 （早稲田講師）
		昼食	ネットワーキング・ランチ	ネットワーキング・ランチ	ネットワーキング・ランチ	ネットワーキング・ランチ	ネットワーキング・ランチ
		午後 1	【講義】 アセスメントフィードバック （早稲田講師）	【講義】 競争優位性を高めるための企業理念とビジネス戦略の整合性確保② （OXFORD講師）	【演習】 自社の経営課題の解決策の仮説アップデート / coaching ① （OXFORD講師・早稲田講師）	【演習】 自社の経営課題の解決策の仮説アップデート / coaching ③ （OXFORD講師・早稲田講師）	【演習】 受講生による自社の経営課題と解決策の発表 （早稲田講師）
		休憩					休憩
		午後 2	【講義】 心理的安全性と包括的リーダーシップ （早稲田講師）	【ゲスト講話】 早稲田海外投資家からみた日本（仮）	【演習】 自社の経営課題の解決策の仮説アップデート / coaching ② （OXFORD講師・早稲田講師）	【ゲスト講話】 Oxford経営とリーダーシップ（仮）	【演習】 受講生による自社の経営課題と解決策の発表（続き） （早稲田講師）
		午後 3	【演習】 自社の経営課題の抽出および解決策の仮説構築 / coaching （OXFORD講師・早稲田講師）	【講義】 企業変革トランスフォーメーションにおける成功の要諦 （早稲田講師）	【講義】 オペレーションと戦略/組織/HRM/企業文化のリアル・アライン（早稲田講師）	【演習】 自社の経営課題の解決策の仮説アップデート / coaching ④ （OXFORD講師・早稲田講師）	【講義】 本講座の振り返り、受講生のkey take away、評価アンケート実施（早稲田講師）
		夕方	ウェルカムディナー			セレブレーションディナー	

早稲田大学: The Global Leader Accelerator Programme (GLAP)

昨年度プログラム内容

プログラム写真



受講者数

- 41名（大手企業を中心とした企業派遣受講者・計27社からの派遣）
- オンライン公開講義（本セッションの一部を公開）20名（15社）

実際のプログラム実施内容

- オンラインによるイントロダクションセッション1回
- 対面による5日間集中（宿泊型）セッション
Oxford講師、早稲田講師、外部ゲスト講師によるインタラクティブな講義と自社課題の演習

昨年度成果サマリー

満足度

- 学習目的到達度：4.71（5点満点）
- 他の人に受講を勧めたいか：4.90
- プログラム全体の総合評価：4.88

受講生の声

- 「グローバルかつ日本企業の文脈に即した質の高い講義と、豊富なアウトプットの機会により、断片的だった知識が体系的な理解へと深まり、自組織を新たな視点で再定義する一助となった。」
- 「多種多様な業界の次世代リーダーや一流の教授陣との密度の濃い議論を通じ、視座が高まるとともに、実務に即したマインドセットの変革を実感する機会となった。」
- 「自社課題を教授のコーチングで揉み抜いたことで、帰任後に即実行できる解像度の高いプランができた。」

受講生を輩出した企業の声

- 「他社参加者との交流が刺激になった。」
- 「参加者の視座が高まった。」
- 「課題が明確になった。」

昨年度の実施を踏まえた発展ポイント

- 修了者同士の継続的な情報交換・学びの場を構築
- 派遣企業に向け、希望に合わせて他の研修プログラムを推奨